



連合 滋賀

日本労働組合総連合会 滋賀県連合会

2025年1月30日
連合滋賀 第319号
大津市松本2丁目10-6
電話077-523-0500
発行・白木 宏司
編集・相澤三千代
(定価 1部6円)
印刷 ヌメディア株式会社



連合滋賀2025新春の集い 賃金も物価も安定的に上昇する経済の好循環を！ 新たなステージを定着させる年にしよう！



連合滋賀は2025年の新年を迎え、1月8日(水)に「連合滋賀2025新春の集い」を琵琶湖ホテルにて、連合滋賀加盟組合員、来賓、連合滋賀議員団など約230名が参加し、開催しました。



連合滋賀会長
白木宏司
主催者代表挨拶(要旨)

私たちが当たり前と思う日常生活は、実は奇跡のようなものです。世界には戦争や貧困に苦しむ人々、国内でも震災後の困難を抱える人々がいます。私たちの平穏な暮らしは、先人たちの努力と多くの支えの結果です。この奇跡を大切に、次世代へつなげる責任が私たちにはあるのではないのでしょうか？

今年は、戦後80年や昭和100年という節目の年です。経済成長とともに築かれた平和の価値を見つめ直し、次世代へつなげる重要性を感じます。また、阪神淡路大震災から30年、能登半島地震から1年を迎え、自然災害の教訓や復興支援の大切さを再確認する機会でもあります。過去の歩みから学び、希望を次世代に伝える年にしましょう。

明治時代の歌人、石川啄木が、「はたらけど はたらけど なお わが暮らし楽にならざり ちつと手をみる」と詠んでいます。現代でもやはり、働いても働いても生活は楽にならず、健全な余裕さえなくなっています。物価高や円安、エネルギー価格の高騰で、生活必需品や光熱費の負担が増し、多くのご家庭が厳しい状況に直面し、企業経営では、とりわけ多くの中小企業が難局に直面しています。これらの問題に対処し、生活と経済を支えるための取り組みが求められる中、私たち連合は、すべての働く人が安心して暮らせる社会づくりを基本にし、「みんなであつこう！賃上げがあたりまえの社会」をスローガンに、賃上げ5%以上、中小労組においては格差是正分を含めて6%以上の方針を掲げ、2025春闘を迎えることになりました。

昨年は5%を超える賃上げが実現し、今後も安定的な物価上昇を成し遂げ、賃金と物価の好循環を回していくことが求められます。そして、今年のポイントとして、中小零細企業への支援を強化し、労務費を含む価格転嫁をしっかりと進めることで、企業の持続可能性を確保していかねばなりません。

労働組合の立場からも「パートナーシップ構築宣言」のさらなる拡大と実効性の強化に取り組みたいと考えています。さらに企業間(BtoB)の取り組みに加え、消費者に価格転嫁を認めてもらうことも大切で、消費者のデフレマインドを払拭し、良いサービスや良い製品、商品には相応の値段が付くことを理解してもらえることも必要です。

そして、労働市場では、人手不足による課題が深刻化し、地域経済や産業全体の活力を低下させる大きな要因となっています。これに対し、多様な人材が活躍できる環境の整備や、働き手のスキルアップ支援、外国人材の活用など、幅広い視点からの対応が必要です。また、AIなど新しいテクノロジーの活用による生産性向上の取り組みも重要な鍵となると考えています。また、ジェンダー平等、多文化共生をはじめとした柔軟性が求められ、多様な働き方の中で生まれる課題にも迅速に対応する必要があります。このような社会課題には、特に政労使の議論と具体的な取り組みが求められていると感じています。2月17日の政労使会議では、賃上げ、価格転嫁、人手不足などの社会課題に対し、闘うのではなく討議を重視し、解決策を導くことが重要です。「春闘」ではなく「春討」として、政労使が議論を深め、実りある会議に繋がりたいと考えています。

2025春季生活闘争における運動の両輪として、政策・制度実現の取り組みを引き続き推し進めなければなりません。現下の経済・社会情勢を踏まえ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた政策課題について、政府・政党・各議員への働きかけが必要です。

今年7月にも予定されている、第27回参議院選挙が大きな試金石となります。比例代表における連合産別組織内予定候補者10名の必勝、滋賀選挙区においては、「人物重視・候補者本位」を基本に「働く者、生活者の立場に立つ政治勢力の最大化」を基本方針として、連合滋賀の構成産別が一つとなった支援体制が構築できる候補者擁立にむけて、立憲、国民の両党を基本に速やかに調整を図りたいと考えています。

今年一年が、皆さまにとって希望と飛躍の年となることを心よりお祈りし、年頭にあたっての挨拶といたします。

連合2025春季生活闘争方針

みんなであつこう！賃上げがあたりまえの社会

みんなであつこう！働く仲間の労働組合

連合滋賀HP
春闘情報はこちら



2025春季生活闘争の意義と基本スタンス

1. みんなの賃上げでみんなの生活を向上させ、新たなステージを定着させよう
2. 「働くことを軸とする安心社会」に向け、格差是正と分配構造の転換に取り組もう
3. 「みんなの春闘」で労働組合に集う仲間を増やし、集团的労使関係を広げよう

連合2025春季生活闘争方針発表 連合プレスリリースより(2024年11月28日)

- ・連合は、2025春季生活闘争において、すべての働く人の持続的な生活向上をはかり、新たなステージをわが国に定着させることをめざす。
- ・「賃金も物価も上がらない」というノルム、これまでの社会的規範を変えることで個人消費の拡大、賃金と物価の好循環につなげる。
- ・経済社会の新たなステージを定着させるべく、全力で賃上げに取り組み、社会全体への波及をめざす。すべての働く人の生活を持続的に向上させるマクロの観点と各産業の「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組み強化を促す観点から、全体の賃上げの目安は、賃上げ分3%以上、定昇相当分(賃金カーブ維持相当分)を含め5%以上とし、その実現をめざす。
- ・中小労組などは格差是正分を積極的に要求する。
- ・賃金実態が把握できないなどの事情がある中小労組は、上記目標値に格差是正分1%以上を加えた18,000円以上・6%以上を目安とする。
- ・持続的な賃上げと格差是正に向けて、適切な価格転嫁・適正取引の取り組みを強化する。

「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みの考え方

	目的	要求の考え方
底上げ	産業相場や地域相場を引き上げていく	定昇相当分+賃上げ分 (→地域別最低賃金に波及)
格差是正	企業規模間、雇用形態間、男女間の格差を是正する	・社会横断的な水準を額で示し、その水準への到達をめざす ・男女間については、職場実態を把握し、改善に務める
底支え	産業相場を下支えする	企業内最低賃金協定の締結、水準の引上げ (→特定最低賃金に波及)

月齢賃金 賃金要求指標パッケージ

底上げ	経済社会の新たなステージを定着させるべく、全力で賃上げに取り組み、社会全体への波及をめざす。すべての働く人の生活を持続的に向上させるマクロの観点と各産業の「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組み強化を促す観点から、全体の賃上げの目安は、賃上げ分3%以上、定昇相当分(賃金カーブ維持相当分)を含め5%以上とし、その実現をめざす。中小労組などは格差是正分を積極的に要求する。	
格差是正	企業規模間格差	雇用形態間格差
	<到達目標水準(中位数)> 35歳:303,000円 30歳:279,000円	・有期・短時間・契約等で働く者の賃金を「働きの価値に見合った水準」に引き上げていくため、フルタイム労働者と同等に能力の高まりに応じた処遇の実現に取り組む。賃上げ・昇給等により、経験5年相当で時給1,400円以上をめざす。
底支え	<最低到達水準(第1四分位)> 35歳:252,000円 30歳:238,000円	・企業内のすべての労働者を対象に協定を締結する。 ・締結水準は、生活を賄う観点と初職に就く際の観点を重視し、時給1,250円以上をめざす。

男女平等意識・川柳 言いにくい そんな空気は もういらぬ (自動車総連 ダイハツ労組 松永 昭七)

連合滋賀「ジェンダー平等推進計画」フェーズI (計画期間:2021年12月~2024年11月) 目標達成状況と総括

連合滋賀「ジェンダー平等推進計画」フェーズIが2024年11月で終了したことを受け、連合滋賀における計画に対する達成状況および、連合滋賀加盟の構成組織、単組・支部における達成状況(連合滋賀「ジェンダー平等推進計画」フェーズIの進捗状況調査結果)を以下に記します。

連合は、結成以来「労働運動をはじめあらゆる分野に女性の積極的な参加を進め、男女平等の社会の実現をはかる」と掲げ、1991年以降、4次にわたる男女平等参画推進計画を策定し、男女平等参画に向けた取り組みを実施してきました。2021年には引き続き労働組合における男女平等参画を進め、2030年までにジェンダー平等社会を実現するとの決意のもと、2024年までの3年間で「フェーズI」として取り組みを進めてきました。

連合滋賀は、男女平等参画や、職場、社会におけるジェンダー平等の推進を加速するべく、年間を通して様々な形で取り組みをしており、労働組合における女性参画も少しずつではあるが着実に前進しています。2021年に策定した「ジェンダー平等推進計画フェーズI」の運動目標(スローガン)や取り組みの必要性と意義などの基本的な考え方は継承し、フェーズIIの取り組みへとつなげてまいります。

男女平等参画、ジェンダー平等で持続可能な社会へ!



◆連合滋賀での達成状況

Change! 「達成目標」	達成状況	現況
組合員の男女比率を毎年調査・把握する	○	2024年度 連合滋賀 構成組織別加盟組織表調査より、男性 77.6%、女性 22.4%
運動方針に「ジェンダー平等の推進」と明記する	○	【重点分野 -3】ジェンダー平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された「真の多様性」が根づく職場・社会の実現を軸として具体的取り組みを明記
執行機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保する	×	連合滋賀三役・執行委員における女性比率は14.6%、役員41名中女性役員は6名(事務局長1名、副事務局長1名、執行委員4名)女性役員の選出はなされているが連合滋賀女性比率22.4%には届かず
Challenge! 「推進目標」	達成状況	現況
大会への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保する	○	2024.11.8の連合滋賀定期大会での女性比率は25.0% 女性参加率は連合滋賀女性比率22.4%を上回ったが、クリティカル・マスの30%には届かず
「ジェンダー平等の推進」を目的とする委員会等の会議体を設置する	○	男女平等推進委員会にて男女平等、ジェンダー平等を推進、年間を通してジェンダー平等推進について発信
多様な人たちが多様な形態で参加できるよう、活動スタイルを点検、見直する	○	WEB等を活用しているが、更なる工夫が必要

男女平等標語・川柳

家事育児 給与もなければ

休暇もなし(電力総連

関西電力労働組 彦根支部 杉本 啓通)

◆構成組織での達成状況 (31構成組織中)

Change! 「達成目標」	達成組織数	達成%
組合員の男女比率を毎年調査・把握する	18組織	58.0%
運動方針に「ジェンダー平等の推進」と明記する	25組織	80.6%
女性役員(会計監査を除く)を選出する	14組織	45.1%
Challenge! 「推進目標」	達成組織数	達成%
大会への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保する	3組織	9.6%
「ジェンダー平等の推進」を目的とする委員会等の会議体を設置する	13組織	41.9%
多様な人たちが多様な形態で参加できるよう、活動スタイルを点検、見直する	18組織	58.0%
執行機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保する	1組織	3.2%

※連合滋賀31構成組織中の達成数値

◆単組・支部での達成状況 (443単組・支部中)

Change! 「達成目標」	達成組織数	達成%
組合員の男女比率を毎年調査・把握する	96単組・支部	21.6%
運動方針に「ジェンダー平等の推進」と明記する	48単組・支部	10.8%
女性役員(会計監査を除く)を選出する	84単組・支部	18.9%
Challenge! 「推進目標」	達成組織数	達成%
大会への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保する	42単組・支部	9.4%
「ジェンダー平等の推進」を目的とする委員会等の会議体を設置する	21単組・支部	4.7%
多様な人たちが多様な形態で参加できるよう、活動スタイルを点検、見直する	55単組・支部	12.4%
執行機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保する	25単組・支部	5.6%

※443単組・支部中119単組・支部より回答を回収 回収率26.9%

高島市議会議員選挙 井上よしお候補 初当選!



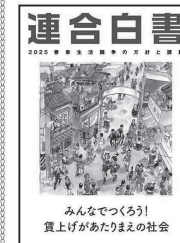
得票数 1,948 票

1月19日告示、1月26日投票で執行されました高島市議会議員選挙において、JP労組が擁立し、推薦決定しました井上よしお候補が初当選を果たしました。

2025春闘に向けて 連合白書をご購読ください

連合本部では毎年、「連合白書」を発刊しています。働く者を取り巻く様々なデータに基づく現状と課題とともに、団体交渉・労使協議の際の視点として考え方を示しています。

サイズ A4版/112ページ
企画・編集 日本労働組合総連合会
発行日 2025年1月14日
頒価 1,100円(税込み・送料別)



ご購入はこちら



特定産別最低賃金が改定されました! (発効:2024年12月31日)

1,000円 ^{46円アップ} → 1,046円
滋賀県ガラス・同製品、セメント・同製品、衛生陶器、炭素・黒鉛製品、炭素繊維製造業最低賃金

1,013円 ^{47円アップ} → 1,060円
滋賀県はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具製造業最低賃金

1,003円 ^{47円アップ} → 1,050円
滋賀県計量器・測定器・分析機器・試験機、光学機械器具・レンズ、電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金

1,016円 ^{46円アップ} → 1,062円
滋賀県自動車・同附属品製造業最低賃金

※記載の金額はいずれも時給額です。
※特定(産別別)最低賃金には、上記のほか「滋賀県紡績業・化学繊維製造業、その他の織物業、染色整理業、繊維粗製品製造業、その他の繊維製品製造業最低賃金」、「滋賀県各種商品小売業最低賃金」がありますが、滋賀県最低賃金1,017円が適用されます。



連合滋賀活動アルバム



連合ユニオン滋賀第26回定期大会 2024年12月20日

2025年度運動方針などを確認、次期役員体制では佐賀春樹専従副会長が新執行委員長に就任。



おうみ少年少女合唱団第33回演奏会 2024年12月22日

今年のテーマは「Memories Oumi's Christmas」! 一年の練習の集大成を子どもたちが発揮!



アジア・アフリカ支援米発送式 2024年12月25日

飢えに苦しむ、マリ共和国の人々に300キロの支援米を送付!